

スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)	「地域や社会で必要とされるスペシャリストの育成」 ～「Only One(唯一の学校)」から「Special One(特別の学校)へ」～ 「農業」「福祉」「調理」の分野における知識・技術の習得をはじめ、心豊かな職業人としての使命感や誇りを持つスペシャリストの育成に加え、目まぐるしい社会に対応し得る人材を育成します。	
スクール・ポリシー (三つの方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)	○基本的な生活習慣を確立し、基礎学力の向上を図ることで、将来を切り拓く力 ○社会における自己の役割を認識し、自他を尊重する態度 ○課題解決に向けて前向きに挑戦し、主体的に取り組む力(チャレンジ力) ○「農業」「福祉」「調理」の専門力、並びに地域を大切にし、地域に貢献できる能力と態度
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)	○基礎学力の定着を図るため各専門分野の基礎から応用に向けた段階的学習カリキュラムの編成 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業時にグループワーク、討議、発表等の導入 ○生徒一人一人を大切に、個別最適な学びの実現に向けた少人数や習熟度別授業の導入とICT活用 ○自ら課題を発見し解決していく資質・能力の育成
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)	○協働と奉仕の精神に富み、人権を尊重する心豊かな人 ○社会の変化に対応できる柔軟な思考を持っている人 ○学習活動、学校行事、部活動、探究活動などに意欲的に取り組む人 ○「農業」「福祉」「調理」の各分野の知識・技術の習得や資格取得に対して意欲的に取り組む人 ○地域や社会に貢献し、人の役に立ちたいという気持ちを持つ公共心あふれる人

学校運営計画(4月)			
学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
○成果 1 ICT機器やオンライン学習支援ツールを活用した個別最適な学びにより教育活動が充実した。 2 計画的な職員研修会の実施により特別な配慮を要する生徒への理解ときめ細かな生徒指導を実践できた。 3 農業クラブ鑑定競技の全国大会出場や、全国レベルの調理コンテスト受賞、介護福祉士国家資格の全員合格の達成など、各科の魅力ある教育課程による学習成果が表れつつある。 ○課題 1 社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上 2 幅広い人材育成とキャリア教育の充実 3 他者理解と対人コミュニケーション能力の育成 4 ワンヘルス教育の視点による教育活動の工夫・改善(学校全体や学科及び教科・科目)、並びに「学びの多様化」に向けた改善	ICTを活用した学習方法の多様化により、基礎的な学力の定着を図る。そして、社会的自立の基盤となる確かな学力と自ら学ぶ力の育成を目指す。	基礎学力の定着に向け、1時間の授業を大切にする授業改善や充実に努め、生徒理解に基づいた観点別学習目標の設定と指導により、対話的で深い学びと学習評価の場面を明確化した授業を行い、確かな学力の育成を図る。	
		ICT機器やオンライン学習支援ツールを活用した多様な学びにより、主体的で、個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、災害や感染症等で登校できない場合でも生徒の学びを止めない。	
		各学科等での学びの特色を生かし、資格取得やコンテスト・各種競技等へ向けた指導を充実し、キャリアアップを図る。	
	農業・福祉・調理の専門分野におけるスペシャリストの育成に加え、社会の状況を踏まえた幅広い人材を育成するため、キャリア教育の充実を図り、第一希望の進路実現を目指す。	3年間の継続的・組織的な指導体制のもと、効果的な現場実習や外部人材の活用により生徒の進路意識を高揚させ技能を習得させる。	
		各学科において、将来のスペシャリストにふさわしい専門知識と技能を身に付けさせつつ、幅広い職種に対応できる勤労観と職業観を育成する。	
		生徒の希望進路決定100%の実現に向け、企業及び大学等との連携をととして、生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導を行う。	
	規範意識の高揚と対人コミュニケーション能力の育成を図るとともに、自律心と自分と異なる他者への理解と思いやりのある心豊かな人間性の育成を目指す。	挨拶、時間厳守、礼儀作法、整理・整頓、頭髮・服装、スマートフォン等のマナーアップ指導を全職員で徹底する。	
		全教科・領域、学校行事、ボランティア活動等において、対話的な活動を位置づけ、自尊感情の育成、自律心と相手を思いやるコミュニケーション力の育成を図り、いじめの撲滅と人権意識を高揚させる。	
		担任、学年、学科相互や、外部機関との情報共有を図り、SC、SSWや保護者等との連携した教育相談体制のもと、中途退学者を減らす。	
	授業や学校行事において、個人及び社会生活における健康・安全に関するワンヘルスの視点を5つの学科それぞれの教育活動に盛り込むとともに、学びの多様化に対応した授業改善を図り、地域に求められる魅力ある学校づくりを目指す。	ワンヘルスの視点を盛り込んだ教育活動をととして、5つの学科それぞれの魅力を高める授業改善に努める。	
		学校全体が一体となるワンヘルス教育を盛り込んだ体験活動等をととして、生き生きと学ぶ生徒の姿を地域や中学校へ積極的に発信する。	
		「学びの多様化」における改善点を促し、関係分掌に連絡し、改善できる取組を実践する。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務課	教員の授業改善を図り、生徒の社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と社会で柔軟に対応できる力の向上のための取組を実践する。	ICT機器を用いて、効率的・効果的な授業実践を図る。また、一人一台タブレットの活用で「個別最適化」の学習の実現を図る。	学科選択希望調査アンケート 授業アンケート	
		「主体的・対話的で深い学び」の実践によって、学習意欲の向上や思考力・判断力・表現力の向上、学習内容を定着させ、社会で柔軟に対応できる力を育成させる。		
		新教育課程に伴う観点別評価において、今までの実践や他校の取組状況と比較し、より良い教務規定を作る。		
	学力向上・授業改善のための学習環境の整備を図る。	情報処理室・視聴覚教室・電子黒板等、教育設備の整備と有効活用を図る。	授業アンケート	
		教科担当者会等において、生徒情報等を共有し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」意識した授業改善につなげる。		
		定期考査や観点別評価の実践におけるサポートを各学年において実践する。		
広報情報課	地域を中心に、より多くの方に幅広く理解を得られるような広報活動の実施	魅力が伝わる学校ホームページ・学校案内パンフレット作成	タブレット端末活用調査 教育の情報化実態調査	
		各種学校説明行事に関する戦略的な企画、運営		
		中学2年生を対象とした説明会(3学期)を企画・運営		
	生徒・教職員を対象としたIT関連知識・技術の習得推進	学校ホームページ・SNS等を活用した積極的な情報発信	新入生アンケート 体験入学等アンケート	
		授業におけるICT機器の積極的な活用		
		ICTに関する教育環境の整備		
生徒指導課	自己指導能力の育成及び自己表現力の育成	職員間の情報共有による問題行動の未然防止と早期発見	学校生活アンケート 行事及び講演会の事後アンケート	
		文化祭に向けてのリーダー育成と、計画・運営・実施の協力体制の構築		
		生徒の社会的自立と、規範意識醸成のための適切な講演会の実施		
	安全安心な学校生活づくり	主体的な生徒会活動による各種行事の円滑な企画・運営学校	いじめアンケート 学校生活アンケート 家庭用チェックリスト	
		本校生が地域の行事等に積極的に参加・貢献する機会の設定		
		学校いじめ防止基本方針の共通理解による、いじめの未然防止・早期発見		
保健課	生徒の健康増進と安全に対する意識の醸成、学校環境の整備と保全を心がけ美しい学校作りを目指す。	健康と安全に関する啓発活動の一環として、保健だよりの充実を図る。	心と体の健康調査 掃除用具調査	
		健康診断等を通して生徒の健康状態を把握し、個別指導・支援に繋げる。		
		生徒の衛生面、安全面の管理の徹底、美化委員会を中心に美化コンクールの実施、道具の整備にあたる。		
	教育相談・特別支援教育の充実を図る。	生徒指導課と連携して、学校生活アンケートや面談週間等から生徒の実態を把握する。それにより課題の早期対応に努める。	(学校生活アンケート) カウンセリング希望調査	
		講演会や保健だよりの発信により、他者との関わりやストレス対処法についての教育を行う。		
		合理的配慮が必要な生徒に関しての研修会等を行い、職員間の共通理解を図り、支援策を検討する。		
進路指導課	進路意識の向上	進路学習や進路ガイダンスを充実・発展させ、自分の能力や適性に気付かせる。	進路希望調査	
		ワンヘルス教育を通しそれぞれの専門性の価値を知り、地域・社会・世界との繋がりを見出させる。		
		実習・職場見学・オープンキャンパス等を経験し、主体的に進路について考えさせる。		
	進路保障のための学力向上	朝学・基礎学力テストを通し、学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。	ICT教育支援システム 進路希望調査 資格取得状況調査	
		小論文・プレゼンテーション指導を通し、論理的思考力や表現力を鍛える。		
		資格取得に特化した朝課外や個別指導を通し、第1志望進路実現を目指す。		

企画庶務課	各部・各課との連絡調整を行い、円滑な校務運営に努める。	企画庶務主催の各行事は、組織的に連絡調整を行い円滑に実施する。	生徒指導記録	
		学校要覧、新入生のしおり等、各課や事務室と連携しながら作成する。		
		課内の業務内容を整理し、連携強化に努める。		
	広報活動の推進に努め、本校教育内容のPRに努める。	PTAと連携し、地域に根差した教育活動を推進する。	各種行事に参加された保護者の意見や感想等	
		本校の日ごろのPTA活動について、筑後地区公立高等学校PTA連合会研修会で発表する。		
夢プロジェクト課	「ワンヘルス推進教育」	学校にワンヘルスを浸透・推進し、実践力を高めるための年度計画を立て、具体的取組を実施する。	・ワンヘルスアンケート(年度当初) ・ワンヘルスアンケート(年度後半)	
		各学年におけるワンヘルス推進教育の目標を設定し、全学年においてHRに組み入れ、実践する。		
		専門学科の授業科目において、授業科目の中にワンヘルスの概念を入れた授業実践をし、中間報告(文化祭)を行う。		
	「学びの多様化」の充実と上記を含めた広報活動を通して地域に求められる学校づくり	広報情報課と図書研修課と連携し、ICT機器を用いた学びの形態の多様化を進めていく。	・広報情報課や図書研修課のアンケートをもとにした分析	
		先進校に視察や情報提供してもらい、教務規定の見直しを促し、不登校対策としての学びの多様化を進めていく。		
		各取組を写真・動画でまとめ、HP等で郊外へ発信する。		
図書研修課	「確かな学力と自ら学ぶ力の育成」のための授業改善及び職員の自己啓発力を高めるための職員研修会の実施	授業アンケートを実施し、その結果を分析して授業改善に取り組む。	授業アンケート	
		積極的な授業参観を促し、互いの授業力を高め合う契機にする。		
		本校の教員として求められる資質能力の向上に繋がる校内研修の企画・立案をする。		
	図書の充実・図書館の利用向上及び図書委員会活動の活発化	生徒・教員のニーズを把握し、蔵書の充実を図る。	購入希望図書調査	
		図書館利用者の増加を目指すために、読書週間等のイベント充実を図る。		
		委員会会議の定例化を図り、委員会活動の定着と周知に努める。		
第1学年	基礎学力の定着	朝学の時間の定着と、各教科担当者との情報共有および連携を図る。	授業アンケート	
		家庭との連携と、細やかな情報共有を図る。		
		課題等を丁寧にやり遂げ、期限内に提出できるようにする。		
	基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚	清掃や学校行事等を通し、個人の成長と集団規範の育成を図る。	生活アンケート、安心度アンケート 個人面談	
		校則や規範を重んじ、安定した学校生活環境づくりを図る。		
		部活動加入率を上げ、学校行事や生徒会活動等を通し帰属意識を高める。		
第2学年	基礎学力の定着	教科担任会等により、情報の共有および指導の連携を図る。	授業アンケート、保護者会(面談)	
		保護者への連絡や面談を行い、家庭との情報の共有および指導の連携を図る。		
		考査前に学年による学習会を行い、個々に応じた指導を充実させる。		
	生徒の主体的な取り組みの推進と自律心の育成	各行事において、計画・運営等を生徒中心に活動する場面を設定する。	行事後の事後指導アンケート	
		文化祭や修学旅行の指導を充実し、帰属意識や連帯感を高める。		
		生徒会活動や農業クラブ活動への積極的参加を促し、リーダーを育成する		
第3学年	社会的自立の基盤となる確かな学力の育成	学年と各学科・教科で、情報の共有および指導の連携を図る。	授業アンケート 学校生活アンケート	
		家庭との情報の共有および指導の連携を図る。		
		考査前学習会を行い、個々に応じた指導を充実させる。		
	希望進路の100%実現	各学科や進路指導課と連携し、専門分野を中心とした進路選択を促す。	進路希望調査	
		生徒・保護者との共通認識を図り、希望に合う進路を決定させる。		
		進路指導課と連携し、進学・就職それぞれへの対策を充実させる。		

農務	農業クラブ活動の活性化	地域及び企業との連携を図り、プロジェクト学習等の充実を図る。	実習記録簿	
		専門分野における生徒の興味・関心を引き出し、生徒自身の課題解決を図る。		
		ITCやオンライン等を活用し、先端農業の学習形態に取り組む。		
	情宣活動及びワンヘルス教育の活性化	ホームページに学習活動を掲載し、各学科の取り組みを発信する。	インターンシップの報告書等	
		ワンヘルスの定義を理解させ、学習での取り組みを理解させる。		
		地域のイベント等に参加し、各学科の学習成果を伝え広める。		
園芸技術科	・基本的生活習慣の確立	就寝・起床時間の管理や授業及び日常の活動における時間管理の励行。	授業アンケート・生活アンケート 実習記録簿	
		授業ノート、実験・実習レポートの書き方の指導を行い、表現する力をつける。		
	・基礎学力および専門知識と技術の習得	生徒の学習意欲を引き出す教材の作成・工夫、ICT、実験・実習などをとおして、わかりやすい授業内容を展開する。	進路アンケート インターンシップの報告書等	
		正しい勤労観、職業観を育成し、希望進路実現する。		
		進路相談や面接指導などの指導を充実し、進路意識の高揚を図る。		
		実習を通してコミュニケーション力を育成し、希望進路実現を目指す。		
食品流通科	食品流通科の取り組みや魅力を積極的に発信する。	地域と連携(久留米市・地元企業・各種研究機関)した取り組みを目指す。	授業アンケート	
		学科の魅力ある授業・実習(新商品開発・各種販売会・広報活動等)をPRする。		
		農業クラブ活動(意見発表・プロジェクト研究・各種競技等)の活性化を目指す。		
	専門的な知識と技術の定着を図り、資格取得や検定の合格を目指す。	実習・授業の更なる充実(ICT等を活用した実践)を目指す。	実習記録簿 進路アンケート	
		資格取得(食品製責任者・簿記検定など)の充実を目指す。		
		生徒の進路保障を充実させる。		
造園デザイン科	学習意欲の向上及び学力の定着を図るとともに、進路実現の推進。	座学・実習を問わず記録時間を設定し、書く習慣を確立し整理力を身に付けさせる。	授業アンケート 進路アンケート	
		進路実現に向けて企業と連携し、早期の進路指導を推進する。		
		教員の専門研修の機会を設定し、資質と技術の向上に努める。		
	短大・地域・企業との連携を図り、専門力を高めた技術指導及びボランティア精神の高揚に努める。	校外実習でボランティア精神の高揚に努め、専門力を向上することができる学習環境を整える。	実習記録簿 現場実習報告書	
		現場実習及び就職先企業の新規開拓を実施し、進路実現につながる連携強化を図る。		
		地域行事等に積極的に参加し、専門力を活かす学習環境を整える。		
社会福祉科	・基本的生活習慣と社会性の確立	挨拶、時間厳守、礼儀作法、頭髮・服装等のマナーアップ指導の徹底。	授業アンケート 実習日誌、報告書(自己評価)	
		豊かな人間性と実践力を育て社会に貢献し奉仕(人の役に立つ)できる人材育成を目指す		
	・基礎学力の向上と専門性の定着	日頃から生徒一人ひとりに目を配り、対話を重視した学習指導を行う。	介護実習先希望調査	
		自らの適性や興味を探り主体的に進路を選択できるよう、自己分析の支援と学習分野や職業に関する情報提供の充実を図る。		
	・国家資格等の取得と希望進路の実現	介護福祉士国家資格はじめ各種資格の取得への意欲と意識向上を図る一貫した指導を徹底する。		
		健康、衛生環境、人と動物の共生社会づくり(補助犬・セラピー犬)について学び、ワンヘルスの理解を図る。		
食物調理科	・食物調理科の取り組みや魅力を積極的に発信する。	ホームページやInstagramを活用して情報を発信する。	料理コンクール応募調査	
		地域と連携し、食物調理科としてのワンヘルス教育の取り組みを発展させる。		
		料理コンクールの入賞・受賞を目指して様々なコンクールへ応募する。		
	・専門的な知識と技術の定着を図り、資格取得や検定合格を目指す。	理論と実習・実技での学びが結びつくように指導方法を工夫する。	授業アンケート 実習先希望調査	
		全職員で挨拶や礼儀作法の指導を徹底する。		
		卒業生との進路懇談会を実施し、自分の進路を考える機会を設ける。		